



<報道発表資料>

2018年4月2日

2018 年度富士山測候所利用 学生公募について

—学生の自主的な調査研究活動に対して助成します—

富士山測候所を活用する会は、気象庁から富士山測候所の一部を借用し、研究・教育目的で活用していますが、このたび学生を対象にして、学生による自主的な調査研究活動に対して公募助成をおこないます。多数のご応募をお待ちしております。

1. 目的

当NPO法人は、設立趣旨として富士山測候所を学術研究・教育等の分野において広く開かれた施設として有効活用することを目的としています。学生公募助成は、特に教育的観点から、学生の自主的な運営による調査研究活動に対して助成を行うものです。

2. 助成分野

富士山測候所を活用する調査研究であれば特に分野は問いません。

3. 応募資格

申請時点で、大学（短期大学および大学院を含む）および高等専門学校「正規の課程」「別科」「専攻科」に在籍している個人またはグループ。

4. 助成金額 総額 10 万円

- (1) 助成対象費目は富士山頂までの運搬費とします。
- (2) 富士山測候所利用料および御殿場基地利用料については免除します。

5. 募集期間

2018年4月2日（月）から2018年5月21日（月）（当日消印有効）

6. 申込方法

(1) 申請書・承諾書・計画書に必要な事項をご記入のうえ、下記宛に郵送をお願いします。申請書等は[こちらから所定の書式](#)をダウンロードして記入してください。承諾書には所属組織の長（または責任者）の捺印が必要です。

(2) なお、郵送いただいた書類等の返却はいたしません。

送付先：〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-6-9 DIK 麹町ビル 901 認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会

7. 応募スケジュール

- (1) 応募締切 2018年5月21日（月）（※）当日消印有効
- (2) 審査 2018年5月下旬
- (3) 助成決定 2018年5月下旬

審査結果は、各申請者に書面で通知するほか、採択された事業については HP で公開いたします。

8. 採択された場合の報告等について

(1) 富士山保全活動への参加（必須ではない）

山頂で山頂班から富士山保全活動についての研修を受け、山頂保全活動に参加していただきます。

(2) 研究速報の提出（必須）

研究・観測の成果は、2018年9月末までに「研究速報」を提出していただきます。

(3) データ検討会・成果報告会での発表（必須）

2018年年度内に開催予定のデータ検討会、および成果報告会で発表していただきます。

(4) 学会等での発表の報告（必須）

富士山測候所を利用した研究成果による①論文（査読付き原著論文）、②解説・総説・紀要等、③講演・学会発表等がある場合は、その概要を報告していただきます。会の[ホームページ](#)> [研究活動](#)> [論文・学会発表DB](#)で公開いたします。

（学会発表等の報告項目）

A. 論文	著者、タイトル、誌名、巻・号、発行年、ページ (pp. xxx - yyy)
B. 解説・総説・紀要等	著者、タイトル、誌名または書名、巻・号、発行年、ページ (pp. xxx - yyy)
C. 講演・学会発表等	発表者、タイトル、イベント名、開催場所、年月日

(5) アウトリーチ活動の実施（必須ではない）

アウトリーチ活動（小中高生を対象に、富士山環境保全に関する内容や、富士山観測データを用いた環境に関する内容の講義等）を2018年12月～2019年2月の間に実施していただきます。



認定NPO法人
富士山測候所を活用する会

事務局・広報委員会 担当 増田
電話 : 03-3265-8287 Email : npofuji3776@yahoo.co.jp

以上